

2024 年 5 月 1 日

産婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「当院の経膈分娩予定妊婦における回旋異常・微弱陣痛発生の年次推移とリスク因子の検討」への協力をお願い

産婦人科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2018 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に、当科において分娩された患者さんのうち、以下に該当する方

微弱陣痛のため分娩中に誘発剤を使用した事例

微弱陣痛や回旋異常による吸引分娩・クリステレル圧出法施行事例

分娩中に医師または助産師が回旋異常と判断した事例

回旋異常、微弱陣痛が要因で緊急帝王切開となった事例

以下の項目について、診療録から採取します。これらはいずれも日常診療によって得られた項目です。

産婦の身長、非妊時 BMI、妊娠時体重増加量、初／経産、年齢、合併症、分娩週数、分娩時出血量、分娩所要時間、該当産婦より出生した新生児の出生前推定体重、出生時体重、アプガースコア、NICU 入院の有無、臍帯長、臍帯巻絡の有無

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：分娩時には陣痛が弱かったり、赤ちゃんの姿勢のずれなどが影響したりすることでお産に時間がかかってしまったり、緊急帝王切開を行わなければならないことがあります。

こうしたトラブル発生の年次推移とそのリスクとなる共通の要因が無いかを調べる研究です。

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2024 年 6 月 1 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心く

ださい。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 看護部（東4階）助産師 船戸 千寿

研究分担者

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科臨床講師・助教 志賀 友美
看護部（東4階）看護師長 末次 加奈

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 看護部（東4階）助産師 船戸 千寿
〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1-1
：058-230-7400

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸1番1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp